

家族でニコニコチャレンジ②取り組みの様子



令和6年11月～12月実施

基本的な生活習慣の確立と自立心の育成をめざして！

「家族でニコニコチャレンジ」の第2回目の取り組みについて、ご報告をいただきました。
今回は、小学校就学を意識して目標を設定し、😊を目指して取り組んだお子さんが増えたようです。「自分でやってみよう」では、着替えや登園準備、お弁当包みなどにチャレンジしたり、小学校での生活時間を意識して「早寝・早起き」にチャレンジしたりした様子が分かりました。また、「テレビ・動画視聴・ゲーム等使用のルール」は、今回も意識して取り組んだ子が多い項目でした。

家族チャレンジャーの取り組みは「ふれあいタイム」が1回目と同様に多く、お子さんとのコミュニケーションを大切にしよう意識していることが感じられました。「お話タイム」に取り組み、お子さんが様々な気持ちを感じながら生活していることや、言葉で伝えることが上手になってきたことに気付いたという感想もいただきました。

目標をもち、チャレンジして、「できた！」という経験を重ねることで、自信をもち、また新たなことに挑戦しようとする心が育まれていきます。家族や園の先生方に見守られ、温かい励ましを受けながら、ぐんぐん成長している子ども達の様子が感じられた2回目のチャレンジでした。

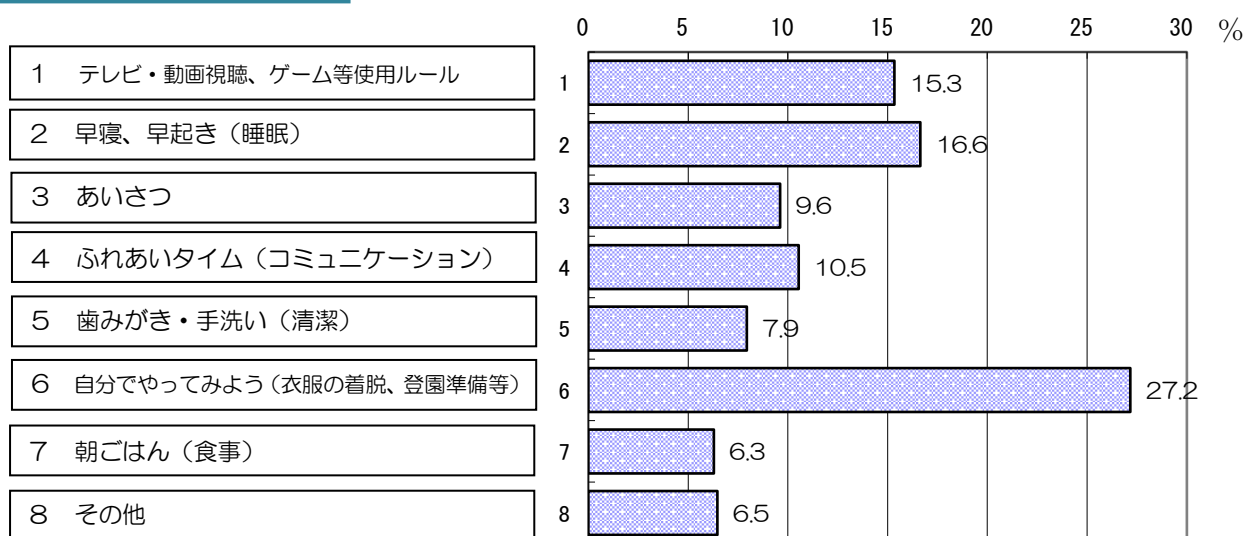
ご協力ありがとうございました。

＜取り組み状況＞

集計協力園／年長児在園 41園／41園

回収率…94.7%（提出者数／配布者数）

取り組み項目の選択状況



家族チャレンジャーの取り組み状況

※ 複数回答含む

家族チャレンジャーとして取り組んだ方の内訳

父	母	兄	姉	弟	妹	祖父	祖母	その他	なし
130人	362人	33人	34人	7人	14人	0人	1人	2人	5人

※家族全員で取り組んだ家庭もありました

家族チャレンジャーの取り組み項目の選択状況 ※5歳児の項目と同じ

取組項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8
人数（人）	56	76	54	215	23	40	28	23
割合（%）	10.9	14.8	10.5	41.7	4.5	7.8	5.4	4.5

保護者からの感想等

《子どもの様子に関わる感想》

にこにこチャレンジをしたおかげでテレビの視聴時間を自分で考えたり、気付いたりするようになってきました。

頑張ることを自分で決めて、自ら書くことで、前よりもやる気がUPしたようです。時々面倒な表情を出してしまうときもありましたが、取り組みを思い出しながらコツコツ頑張っていました。

ゲームをしないと決めた日から、休日になってもゲームをねだることはなかったです。本人がよく我慢できていたと思います。自分でやる！と決めてとても張り切って取り組んでいました。

前回よりも「ニコニコチャレンジやろう！」と積極的に自分からやっていました。

《家族の関わり方に関わる感想》

「これも一人でできるの？」と新しい発見がありました。

小さなことでも意識してやってみるとやりがいがあった。続けていきたいと思う。

絵本の時間を作る為に、早く寝る準備をするなど、この時間以外も充実していた。

前回のニコニコチャレンジの反省を活かし、意識して子供と向き合うことができました。これからも子供と一緒に過ごす時間を大切に、そして優しい気持ちで向き合えるようにしていきたいです。

子どもだけが一人頑張れるのではなく、みんなで取り組むという姿勢が大事だと改めて感じました。

園からの感想等

一緒に頑張ることで双方が意欲的に取り組めたように感じました。どの家庭も、小学校入学に向けて、出来るようになりたい、出来るようになって欲しいという思いで取り組んでいたようです。この取り組みで得たことは、きっと入学後にその子の力となることと思います。

自分でマークを書き込む家庭が殆どで、書き込むことを楽しみに取り組んだという感想が多かった。自分で書きたい気持ちを尊重してもらっているのが分かった。そこでも親子の触れ合いの時間。きっかけが生まれると感じた。

お家の方と取り組んだことが、一番嬉しそうでした。一緒に一つのことに向かう事ができてよかたと思います。

今回の取り組み結果と次年度の取り組みに向けて

☆ 今年度の取組について…各園の報告から… ☆

- 子どもたち自身が目標を持ってチャレンジし、そこに親も一緒にチャレンジしてもらうことで、同じ意識を持ちふれあいや会話を楽しみながら行うことができた様子が伝わってきて嬉しく思う。
- 子どもからの指摘で親がハットさせられ、それをチャレンジ内容にしたり、取り組みを頑張ったりする家庭もあり、親子で意識しあえる機会となったようだ。一方的に子どもだけが指摘されるのではなく、対等な関係でがんばり合えたのが良い取り組みにもつながったようだ。
- 皆、何らかの刺激のある取り組み期間だったようで振り返りや今後の目標が記されていて良かった。
- 子ども達も、自分の目標に向かって頑張ったことがマークの数を見て分かった。生活習慣を整える為にも選びやすい内容の項目が多いのも良いなと感じた。
- 何か子どもの成長に変容が見られた時、「〇〇くん、にこにこチャレンジであいさつがんばっていたもんね。すごいなあ」と関連付けて言葉をかけるようにした。その姿を保護者も「そうなんです」と子育てについて話すきっかけとなった。家庭だけでなく、園生活に活かしていくことも大切と感じる。

☆ 次年度の取組に向けて ☆

- “家族で” チャレンジするということが、子どもだけでなく、親子・家族での生活習慣の見直し、子どもの成長への気付き、親子の触れ合いの時間を増やすことなどへのきっかけとなっている。
- “目標を決めて” 取り組むことで、チャレンジへの意欲が高まるとともに、2回目の取組では特に就学に向けての意識の向上がみられる。
- 家庭での取り組みではあるものの、取り組みで自信をつけた子どもの姿が園での生活にも表れている。各園で子どもや家庭への働きかけを工夫してくださっている。次年度も園との連携を大切にしながら取り組みを継続していく。